

**感謝の心のバリアフリーコンサート!**

●音楽の都ウィーンからの贈り物コンサート!

昨 29 日は、野田市櫛のホールにて「音楽の都ウィーンからの贈り物 ～心のバリアフリーコンサート～」(主催:野田市文化会館・櫛のホール活性化共同体、共催:つくしんぼ運営委員会、後援:春日部地区浦高会他)が開催され、定員 330 名を超える会場はほぼ満員でした。出演は、**シルヴィア・リーザ**



開会挨拶[右から野田市教育長・佐藤様、つくしんぼ運営委員長・加藤様、司会の矢野様]

**一様**(ソプラノ、バーデン歌劇場契約歌手)、**富田千種様**(バリトン、ウィーン在住、浦高 19 回卒)、**追川礼章様**(ピアノ、東京藝術大学大学院ソルフェージュ科、浦高 64 回卒)で、プログラムは次の通りでした。

■シューベルト (F. Schubert) 「ます (Die Forelle)」「水の上で歌う (Auf dem Wasser zu singen)」「魔王 (Erlkönig)」 Rieser

■日本歌曲 (Japanische Lieder)  
◇貴志康一 (Kouichi Kishi) 「かごかき (Jap.korbenträger)」 ◇中田喜直 (Yoshinao Nakada) 「みみずく (Eule)」 ◇橋本 国彦 (Kunihiko Hashimoto) 「百姓唄 (Bauernlied)」 Tomita



■シュトラウス (R. Strauss) 「明日! (Morgen!)」

「万霊節 (Allerseelen)」「ツェツィーリエ (Cäcilie)」 Rieser

■ミレッカー (C. Millöcker) オペレッタ『ガスパローネ (Gasparone)』より「貴女に赤いバラを (Dunkel rote Rosen)」 Tomita

■シュトラウス (J. Strauss) オペレッタ『こうもり (Die Fledermaus)』より「アデーレのアリア「私の公爵様、私が小間使いですって?」 (Mein Herr Marquis)」 Rieser



お二人からウィーンの話



ダニロとハンナの二重唱

■レハール (F. Lehar) オペレッタ『陽気な未亡人 (Die Lustige Witwe)』より「ダニロとハンナの二重唱」 Duett Tomita, Rieser

～ Pause (15min.) 休憩 ～

■ベルディ (G. Verdi) オペラ『ドン・カルロ (Don Carlo)』より ロドリゴの死「終わりの日はきた (Per me giunto è il di supremo)」 Tomita

■アルディーティ (L. Arditi) 「口づけ (Il Bacio)」 Rieser

■ベルディ (G. Verdi) オペラ『椿姫 (La Traviata)』より◇Arie Germon 「プロバンスの海と陸 (Di Provenza il mar...)」 Tomita

◇Arie Violetta 「過去の日よさようなら (Addio del Passato)」 Rieser



第二部のリーザ様



追川礼章様



デュエットで

■ロッシーニ (G. Rossini) オペラ『セビリアの理髪師 (Il Barbiere di Siviglia)』より◇「序曲 (Overture)」 Oikawa ◇Arie Figaro 「俺は町の何でも屋 (Largo al factotum)」 Tomita ◇Arie Rosina 「今の歌声は (Una voce poco fa)」 Rieser ◇二重唱「それは私のことなのね (Dunque io son)」 Duett Rieser, Tomita

■全員合唱★翼をください ★赤とんぼ ★ローレライ (Die Lorelei) ★野バラ (Heidenröslein)



全員合唱風景



出演者とスタッフで記念撮影

◇ ◇ 春日部地区浦高会の**根本崇会長**が野田市長の時代に、建物や道路などハードだけでなく、心のバリアフリーが大切とって撒かれたさまざまな種、その一つが**“ふれあい喫茶つくしんぼ”**であり、加藤満子委員長をはじめ多くの皆様の力で育てられ、今回の 25 周年記念コンサートに結びついたそうです。嬉しいご縁ですね。**感動! 感謝!**